

＜その他＞

No	意見・感想等	市からの回答
1	ヒヤリングは非常に重要である。ただ、回答者は、従来の常識に則って答えることが多いので、それを「解決すべき課題」と解釈すると、問題の所在を誤ることとなる。むしろ、「現状をもたらした原因」と解釈し、外部環境の検討を踏まえ、新たな問題設定をしていただきたい。そうすると、キーワードを並べる方向性（コンセプト）と、キーワード間の関係をわかるように記していただくと、意見をもっと書きやすくなると思う。	ヒアリングの結果は、ご意見の視点を持って取り扱うよう注意する。
2	工業、商業、農業、観光、市民が一つにまとめられる産業祭を年1回だけでなく4回以上開催したい。市民を含んだ法人、団体、個人が参画することで活性化が図れる。春夏秋冬それぞれにテーマを設けてメリハリを付けて継続したい。	個別の事業に関しては、施策立案にあたっての貴重な意見として取り扱わせていただく。
3	ニプロの稼働までの計画を提示ください。	個別の事業者に関わる内容の記載や、事業者が特定される表記は行わないこととしたい。
4	羽村市は元々駅西口周辺が中心地であったので、ここを積極的に中心地化していくべきではないのか。近年ゴーストタウン化している。	中心市街地活性化は課題であると認識しており、施策立案に際しても重要な視点と捉えている。
5	今後、羽村市内に大型商業施設等の建設予定はあるのでしょうか。	現時点では、具体的な計画は把握していない。
6	ニプロ、日野自動車等と連携したまちづくりの計画はありますでしょうか。上場企業の開発や試行的な事業の協力等。	市内に立地する大手企業の動向はまちづくりに与える影響も大きく、様々に連携・情報共有しながら、市の産業振興施策にとどまらず、総合的なまちづくりに取り組んでいく考えである。
7	顔が見えるコミュニティ形成が羽村市の強みではないかと感じる。	面積や人口規模など、コンパクトな自治体であることを強みとした「顔が見えるコミュニティ」があると考えており、こうした強みを施策立案に際しても生かしていくことが必要と考えている。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・若者・女性（主婦）、高齢者という3つの層に着目して考える。 ・まず最近の若者は行動力があり、複数（集団）になると大きな力を持つ。しかし力の発散先が悪いほうへ向くと、今の羽村にもいるような夜徘徊したりバイクを乗り回すようなことになって治安が悪化し、安全のために取り締まりを強化する必要が出てくる。マイナスをゼロに近づけるためにリソース、労力をかける必要が出てくる。それを例えば商店街活性化のために動いてもらうなどの良い方向に向ければ、ゼロからプラスに向かうために労力を使える。 ・次に女性を見ると、これまでも子育ての面では大きな役割を担ってきているが、それに加え社会進出が以前よりも進んでいることで多種多様な役割を担うようになってきていることから、女性目線で産業振興を考えることが必要ではないか。 ・最後の高齢者層を考えると、昨今の高齢者層は貯蓄がある方が多く、消費意欲も旺盛で、自身の趣味など好きなもの、また孫へのプレゼントなどには多額の出費をすることをいとわないように見える。 ・女性と高齢者を統合して考えるとすれば、テーマパークのような、大型商業施設があると、消費意欲が刺激されるのではないか。 ・また、そういう施設ができるのであれば、宿泊施設や病院などの社会インフラの整備も進んでいくと思われる。 	市民の年代や性別によるニーズの傾向などを考慮する必要性について、施策立案にあたって貴重な意見として取り扱わせていただく。
9	コロナ感染の長期化は産業振興に大きなマイナスです。新型コロナの早期収束に向けた行政の更なる対策強化をお願いしたい。子供にワクチンは打てないし、ワクチン頼みと自粛要請継続の様子見姿勢は反対です。東京都に数時間で陽性と変異型が判定できるPCR検査機器の導入を要望してほしい。特に都心での検査拡大と隔離の徹底を、羽村市と羽村市長よりお願いしてもらいたい。（東京都知事に昨年来何度もネットで意見投稿していますが、全く反応はありません）羽村市でも都心への通勤・通学者の定期検査・希望者検査を実施してほしい。	市では全庁を挙げて新型コロナウイルス感染症対策に注力しており、ご意見は市担当部署に伝えさせていただきます。
10	事業主目線の意見が主体となり立場に偏りが見られ、振興策よりも支援策の目線が強くなっている気がします。市民と事業者がともに良い関係を築けるような仕組みが必要ではないでしょうか？事業者の顧客は購入してくれる客ですが、その先の世の中を見据えることもあります。市政における顧客は産業振興といえども市民に還元される必要があると思います。各企業の市内在住従業員や一般市民でも市民＝従業員＝顧客と併せ持つ人の聞き込みによる深掘などが欲しいところです。また近年移ってきたニプロさんやNISSYOさんなどの聞き取りなども参考になる点があるかもしれません。いずれにしても、商工会などの枠組みにとらわれない発想も必要だと思います。	ご意見の視点を持って取り組んでいく。
11	将来に向けての実効性の高い計画の立案には、最新で客観的かつ具体的な情報をベースに検討する必要がある。支給された資料を含め、提言のヒントを探すべく四苦八苦している最中にネットで「羽村市産業振興課 市内製造企業ガイド」を閲覧すると、企業名の後ろに(2021)～(2010)とデータ更新年と思われる記述があり、ほとんどが(2010)近辺であった。又中には社名をクリックしてもページが存在しないものもあった。データの有効活用及び羽村の活性化のためには、できれば各企業の情報は定期的に更新して出来る限り新しくすると良いと思う。	計画策定の検討にあたっては、情報、データは最新の内容を使用する。「市内製造業企業ガイド」については内容を確認し、最新の情報で掲載し、活用を図っていく。